

エアドライヤの取扱いについて

★ エアドライヤの性能を100%引き出すには定期整備を！

エアドライヤの役割

エアコンプレッサから送られてくる圧縮空気には大気中又は、圧縮後に冷却される事による水分及びエアコンプレッサ内の潤滑油が混入しております。

その水分、油分をエアドライヤ内の乾燥剤とフィルタで除去、乾燥し、きれいな圧縮空気をエアレザーバタンクに送ります。

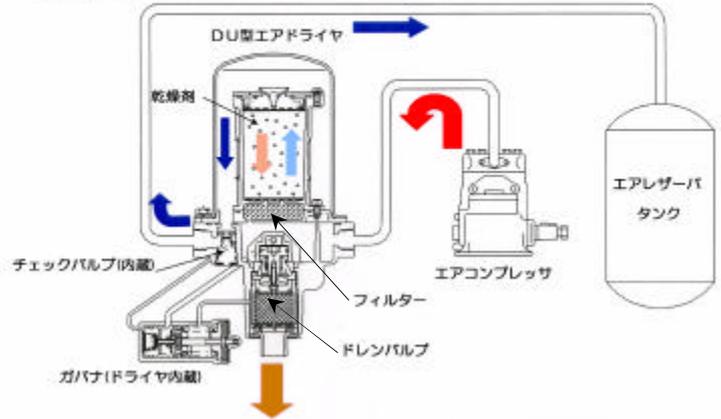
エア圧が上限に達するとガバナの作用によりドレンバルブが開き、エアドライヤ内の圧縮空気は急激に大気に開放されます。

その時、乾燥剤に吸着された水分及びフィルタに堆積した油分が大気に排出されることにより水分、油分の除去性能が回復します。

このサイクルを繰り返すことにより、常にエアドライヤの機能は保持されています。

DU型 エアドライヤ システム

デリバリーアンロードシステム



★ 長期間、整備を怠ると・・・

なぜ定期整備が必要？

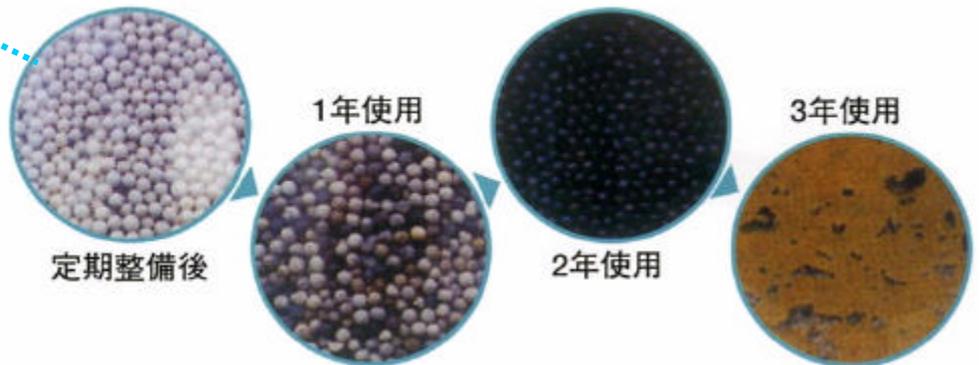
エアドライヤ内の乾燥剤、フィルタは次第に、水分、油分の除去性能が低下していきます。性能が低下した状態で使用し続けると除去出来なかった水分、油分がエアシステム各機器のグリスを劣化させ、バルブ類の摺動抵抗が増加し、ブレーキシステムの作動不良の原因となります。最悪の場合、運行不能となるおそれがあります。



上図 :DU型エアドライヤ

点検整備の目安

大型車：1年毎または10万キロ走行毎
中型車：1年毎または6万キロ走行毎



稼働状況により異なります。

★ 整備内容

オーバーホール

エアドライヤを分解し、1年毎に乾燥剤を交換する1年キット、又2年毎にバルブ類ゴム部品を交換する2年キットを使用し、オーバーホールを実施致します。

リビルト交換

高品質低価格リビルト品 (DU型) を使用した交換作業。作業時間の短縮に効果的です。